

横浜市立横浜サイエンスフロンティア高校等で自衛隊進路ガイダンス



ガイダンスに熱心に耳を傾ける生徒

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 縣1陸尉）は、5月26日（月）に、横浜市立横浜サイエンスフロンティア高校、6月12日（木）には、横浜市立東高校において行われた「自衛隊進路ガイダンス」において、防衛大学校、防衛医科大学校、航空学生及び一般曹候補生等の制度説明を実施した。

横浜サイエンスフロンティア高校は、2年連続で防衛大学校入校者を輩出しており、生徒の自衛隊に対する関心も高い。本ガイダンスは、両校の進路指導部から進路ガイダンスの開催を依頼されて実施したもので、参加した学生は皆、熱心に耳を傾けていた。参加した生徒からは、「自衛隊にも色々な道があること知った」という声も聞かれた。

横浜出張所は、「今後も学校と密接に連携し、自衛隊に対する理解を深めていただき募集成果に繋げていきたい」としている。

高校生に自衛隊の本当の姿を伝えたい
神奈川県立川崎工科高校説明会

学生に説明をする広報官

神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 荒木3陸佐）は、6月5日（木）、神奈川県立川崎工科高校で実施された進路分野別説明会に参加した。

川崎工科高校は、高度な科学技術に携わる人材を育成するため、理数科教育にシフトした教育カリキュラムと、その実践校として平成21年に誕生した高校で、自衛隊の通信等の分野での活躍が期待される。また、川崎市南部地区に所在する高校の中で唯一学校説明会が実施できる学校である。

説明会では災害派遣を例に上げ、自衛隊が人命救助に限らず給食・給水・入浴・洗濯・医療等の幅広い分野で民生支援を行えるのは、自己完結能力を備えた組織とプロフェッショナルな隊員を育成する教育環境が整っていることなどを紹介した。

参加した生徒は、自衛隊の豊富な職種・職域に驚くとともに、政府専用機や南極観測船しらせの運航等も自衛隊の活動の一部であることに興味を示していた。

説明終了後、参加した生徒から「是非受験したい」「航空学生にもチャレンジしたい」等の声が聞かれる一方、女子の倍率の高さに「もう少しよく考えたい」と受験に対する不安をのぞかせる学生もいた。

川崎出張所は、「今後も中学・高校に対して各種説明会の実施に関する働きかけを行い、説明会の実施可能な学校の拡充を図り、自衛隊の真の姿を生徒に直接伝えていきたい」としている。